

日本病理学会 100 周年記念誌

社団法人 日本病理学会

序 文

日本病理学会が2011年に創立100周年を迎えるにあたって、その記念事業の一つとしてここに日本病理学会100周年記念誌を刊行いたしました。

本学会は1963年（昭和38年）、学会創立50周年に際してその50年の歩みを詳細に記載した50周年記念誌を刊行しました。この記念誌は、我が国の医学の勃興期から敗戦による破壊、再建という激動の時代における諸先輩の努力が詳細に記載されておりまして、まさに我が国の医学史そのもの、といえる高い価値のある書物であります。

一方、50周年記念誌発刊以降の半世紀を振り返ると、そこには社会的にも、医療の領域でも、また我々病理学においても、前の50年史に匹敵する状況の変化がありました。この変化は年々加速し、ついにはまさに激動、といってよい状況に至っているように思われます。この半世紀の激しい変化の中で学会会員諸氏がどのような努力をほらって状況を拓き、今日を迎えるに至ったか、これを忠実に記載しておくことは、単に歴史的価値にとどまらず、現代に生きるわれわれ、また次の時代を担う方々にも具体的に資するところが多いように思われます。記念誌はこのような観点に立って、50周年記念の今日的続編、という考え方で編集をいたしました。

本誌は、基本的な歴史の記載（本文）、と会員諸氏がこの50年の学会活動に関する折々の想いをつづったコラム記事、および資料によりなりたっております。加えて電子版の付録として日本病理学会50周年記念誌の復刻版、菅野晴夫先生の著作「病理の百年を振り返って」を記録しました。本誌が日本病理学会のあらたな発展のため、また我が国の新しい時代の医療、医学の発展のために幾分ともお役に立てば、私どもにとってこれに過ぎる喜びはありません。

2011年3月28日

日本病理学会100周年記念誌刊行委員会